

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成22年8月12日(2010.8.12)

【公表番号】特表2009-543601(P2009-543601A)

【公表日】平成21年12月10日(2009.12.10)

【年通号数】公開・登録公報2009-049

【出願番号】特願2009-519575(P2009-519575)

【国際特許分類】

A 44 B 18/00 (2006.01)

B 29 D 5/10 (2006.01)

【F I】

A 44 B 18/00

B 29 D 5/10

【手続補正書】

【提出日】平成22年6月23日(2010.6.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ネット部分と第2の一体型非ネットフィルム部分とを有する連続高分子フィルム裏材を含み、前記ネット部分が、第1方向に延在する第1の複数の熱可塑性ストランドの組及び第2方向に延在する第2の複数の一体型ストランドの組から形成され、前記第1の複数の熱可塑性ストランドの組及び前記第2の複数の一体型ストランドの組の少なくとも1つの組が直立するフック要素を有する、高分子フィルムフックネット。

【請求項2】

ネット部分と第2の一体型非ネットフィルム部分とを有する連続高分子フィルム裏材を含み、前記ネット部分が、第1方向に延在する第1の複数の熱可塑性ストランドの組及び第2方向に延在する第2の複数の一体型ストランドの組から形成され、第1の複数の熱可塑性ストランドの組及び前記第2の複数の一体型ストランドの組の少なくとも1つの組が、直立するフック要素及び物品に取り付けるための第2の一体型非ネットフィルム部分を有する、物品の締結タブ。

【請求項3】

熱可塑性高分子ネットを形成する方法であって、

第1方向に延在して連続する隆起部を形成する複数のピーク及び谷として、上面から下面まで延在する一連の隆起部を有する第1の三次元ポリマーフィルム部分を含むフィルムを押し出し、同時に、実質平面な裏材を有する第2の実質連続的な平面裏材部分を押出す工程と、

前記第2の実質連続的な平面裏材部分の裏材を切断することなく、複数の切断部分を形成するように、前記フィルムを実質的に通る複数の切断線において、前記第1方向に対してある角度をなす第2方向に、少なくとも1つの面において前記三次元ポリマーフィルム部分を切断する工程と、

前記複数の切断部分が互いに分離するように、切断された前記フィルムを前記第1方向に方向付けて、非切断部分により接続されるストランドの組を有するネット部分と、前記平面裏材部分の非切断裏材により形成される非ネット部分と、を形成する工程と、を含む方法。